

亀山QOL支援モデル事業の概要

実施地域： 亀山市

実施主体： 亀山QOLコンソーシアム（代表団体：シャープ(株)）

参加団体： (公社)亀山市シルバー人材センター、(株)法研、ソフトバンク(株)、シャープビジネスソリューション(株)
(株)キーバインド、(株)第三銀行

協力団体： 三重県、亀山市、みえライフイノベーション総合特区推進協議会

「亀山QOL支援モデル事業」とは

三重県、亀山市(行政)が実証フィールドの提供等を協力し、シャープ(株)を代表とする民間の事業コンソーシアムが高齢者向けサービスを準備し、亀山市シルバー人材センターが窓口になりサービス提供を行う形で展開している事業。本事業は当初、経済産業省「平成27年度健康寿命延伸産業創出推進事業」の『亀山QOL支援モデル事業』として、平成27年10月から開始し、平成28年度からは、一部、亀山市の介護保険事業と関連付け、4年間継続・推進中。

地域における現状と課題

亀山市地域特性としては中山間部が多く、今後の高齢者増加に伴い独居・高齢者のみの世帯比率は上昇見込み。これら家族等の支援が望めない世帯では、将来的な買い物難民や病气・介護の伴う交通手段の不足等、地域での生活困難化が予測されるが、住み慣れた地域での生活継続には、QOL(生活の質)の維持・向上が必要と考えられる。しかし、小規模自治体の特性上、行政や地域の支援だけではカバーできないため、亀山市とシャープ(株)は、三重県及び他の民間企業、亀山市シルバー人材センターと連携して高齢者のQOL支援(疾病・介護予防、生活支援サービスの提供を行う)モデル事業に取り組んでいる。

事業の全体像

- ① 将来的な高齢者増加に対して、シルバー人材センターを活用し、介護保険外の生活支援サービスまで含めた「ワンストップ型」のサービスを提供できる地域完結のビジネスモデル構築を、三重県・亀山市・亀山QOLコンソーシアム(シャープ(株)が代表団体)が連携し官民一体となって実施している。
- ② 亀山市シルバー人材センター内に、シルバー人材を活用した「生活支援サポーター」という新しい就業を開発。地域高齢者への訪問活動や高齢者向けイベント「スマートシルバーかめやま」等を行いながら、「人を介した」サービスの提供により、「高高支援」を実現。推進に当たっては、人材開発のための生活支援サポーター育成プログラムを作成し、「生涯現役促進」を進めている。
- ③ サービス利用高齢者にはプロフィールを作成し、日々記録される健康管理・介護予防情報と連動させて、健康レポートの発行や、健康電話サービス、生活支援サービスを提供。
- ④ 各地区まちづくり協議会等の地域組織と協力の上、各個人の判断に基づき、有償参画いただいているが、サービス利用者の多くは、利用者からの口コミ・紹介からとなっている。
- ⑤ 亀山QOL会員へは、介護予防例会(イベント)を開催し、引き籠りの防止を図ると同時に、生活支援サポーター訪問による操作説明・御用聞きを行い、生活支援サービスの提供を進めている。



